

福井県ふるさと文学館報

第5号

いあこより

館長 中社 敏朗

当館が開館し、早くも四年となりました。おかげさまでリピーターの方も増えており、ありがたく感じております。

さて、今年度の企画展では、春に開館三周年を記念して当館が誇る代表作家のコレクション展を開催しました。夏には、五〇年ぶりに本県で行われた「福井しあわせ元気」国体・障スポ大会の文化プログラムとして「スポーツと文学」を開催しました。また、秋と冬にはふるさと福井の先人を扱いました。秋は敦賀出身の桑原武夫、冬は小浜出身の山川登美子を紹介しました。イベントでは、文学のお祭り「文学フェスタ」をはじめ、著名作家による講演会、気軽に文学に親しむ文学カフェや文学講座、短歌や俳句づくりを体験する創作講座、文学賞受賞を目指す文学ゼミや学校への出前授業などを行いました。

また、荒川区立ゆいの森あらかわ吉村昭記念文学館とのおしどり文学館協定締結一周年を記念して、荒川区との合同企画展や記念講演会を開催し、文学を通して両地域の交流を深めました。このほか、観覧の合間にくつろいでいただけるスペースの新設や音声ガイドの導入など、当館に親しんでいただくための工夫も進めました。

当館の活動を通して福井ゆかりの作家や作品についてお知らせいただき、福井の理解を深めていただければ幸いです。引き続き皆様のご支援を賜りますようお願いいたします。

企画展

開館三周年記念

ふくいのお宝 ―ふるさと文学館コレクション展―

会期 四月二一日(土)～六月二四日(日)

福井を代表する作家三好達治、中野重治、高見順、水上勉、津村節子は、日本の近現代文学を表する作家でもあり、この五人の豊かな物語世界とふるさと福井への想いは福井が誇る宝です。

三好達治「師よ萩原湖太郎」書幅、中野重治「文学者に就て」について原稿、高見順の従軍手帳、水上勉「雁の死」原稿、津村節子「炎の舞い」原稿など、当館がこれまでに収集してきた五人に関する資料を一堂に展示し、その業績と作品の魅力を紹介しました。

「福井しあわせ元気」国体・障スポ大会文化プログラム事業
スポーツと文学

会期 七月二一日(土)～一〇月一四日(日)

明治時代を代表する文学者の一人・正岡子規が「野球(のぼーる)」という雅号を用いていたことはよく知られています。スポーツ好きの作家やスポーツをテーマにした物語は数知れません。草野球に没頭した鎌倉文士(久米正雄や大佛次郎)などスポー



ツに熱中した作家や、佐藤多佳子『一瞬の風になれ』などスポーツを描いた小説、壁井ユカコ『2.43清陰高校男子バレー部』など福井を舞台にしたスポーツ文学を紹介しました。

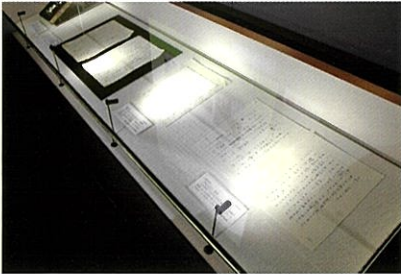
また、各種スポーツ競技を体感するVR映像やメダリスト気分を味わう東京オリンピック表彰台（レプリカ）、実際にやってみる障害者スポーツボッチャなど、スポーツの世界を体験するコーナーも設け、スポーツの魅力やスポーツ文学の世界を存分に感じていただきました。

没後三〇年 桑原武夫展

会期 一月三日(土・祝)〜二月二四日(月・休)

フランス文学者・評論家の桑原武夫は一九〇四年に敦賀市に生まれ、幼少期を敦賀で過ごしました。スタンダールやルソーの翻訳・研究、『第二芸術論』など日本文化に関する評論で活躍した他、日本の人文科学における共同研究の草分けとなりました。また、京都大学学士山岳会隊長としてパキスタンのチョゴリザに世界で初めて登頂しました。

敦賀での幼少期などを記した「思い出すこと忘れえぬ人」原稿や旧三



高時代の同級生三好達治との往復書簡、共同研究などで使用したノートやカード、チョゴリザ登頂時の無線機やラジオなど貴重な資料を展示しました。

また、チョゴリザ初登頂のドキュメンタリー映画も上映し、初登頂者である神戸大学名誉教授の平井一正氏が当時の苦労や桑原武夫について語りました。

山川登美子と『明星』歌人展

会期 一月二六日(土)〜四月七日(日)

二〇一九年は小浜出身の歌人山川登美子の生誕一四〇年、没後一〇年にあたります。

山川登美子記念館等とも連携して山川登美子の自筆資料や着物など貴重資料を集め、二九歳の若さで生涯を閉じた登美子の軌跡を辿りました。また、与謝野晶子が山川登美子についてふれた書簡や石川啄木の自筆資料など、同時期に活躍した『明星』歌人とのつながりも紹介しました。

展示会場では、新進気鋭の映像作家白石慶子氏による山川登美子をテーマにした新作アニメーション「色百合の君」を上映し、創作・撮影コーナーでは、来館者の皆さんに短歌やメッセージを寄せていただきました。



プロローグゾーン展示

福井の文学ニューウェーブU40

期間 二月三日(金)～四月八日(日)
本県出身の四〇歳未満の若手作家一人を紹介しました。

福井の桜を描いた文学

期間 二月三日(金)～五月三日(水)
足羽川や粟田部、神子の桜など、福井の桜を描いた文学を紹介しました。

幕末明治福井一五〇年博事業 幕末の福井を描いた小説

期間 四月二四日(土)～六月二七日(水)
松平春嶽、由利公正、橋本左内など、福井ゆかりの偉人や幕末の福井を描いた小説を紹介しました。



福井ゆかりの児童文学

期間 四月一四日(土)～六月二七日(水)
こどもの読書週間にちなみ、福井ゆかりの作家が書いた児童文学作品を紹介しました。

福井地震から七〇年 福井地震を描いた文学

期間 五月二五日(金)～七月一日(水)
当時の被害状況を伝える資料や福井地震を描いた文学作品を紹介しました。

福井のこわい話

期間 六月二九日(金)～九月二日(水)
福井が舞台の怖い話などを紹介しました。

追悼 加古里子さん

期間 六月二九日(金)～二〇月二四日(水)
五月に亡くなった越前市出身の絵本作家、加古里子氏の業績や作品を「物語絵本の世界」と「科学絵本の世界」の二部に分けて紹介しました。

福井ゆかりの作家と古典文学

期間 九月一四日(金)～二月一九日(水)
『万葉集』『おくのほそ道』など福井と関わりのある古典文学について、福井ゆかりの作家が綴った作品を紹介しました。

おしどり文学館協定一周年記念福井県・荒川区合同企画展 津村節子 ～これまでの歩み、そして明日への思い～

期間 一〇月二六日(金)～一月二三日(水)
九〇歳を迎えた津村節子氏の業績や今後の決意などを紹介しました。数々の著作や自身を語る最新映像も紹介しました。また、荒川区の吉村昭記念文学館でも合同企画展を開催しました。

福井の冬の物語

期間 一二月二日(金)～三月一七日(日)
越前がにや越前水仙、水ようかんなど福井の冬を描いた文学を紹介しました。



開館四周年記念

ようこそ文学館へ〜ふるさと文学館に来館された作家たち〜

平成三〇年に当館に来館した作家の色紙、写真を展示しました。

◆タイムリースポット

映画「ちはやふる―結び―」公開記念展示

期間 三月二三日(金)〜五月二三日(水)

映画公開にちなみ、「ちはやふる」原作やノベライズ作品を展示しました。



福井ゆかりの作家 新刊紹介

期間 七月三日(金)〜九月二日(水)

津村節子、宮下奈都などの新刊を紹介しました。

ゆかり作家が一〇代のころに読んだ本

期間 九月四日(金)〜二月九日(水)

中野重治や水上勉らが一〇代の頃に大きな影響を受けた本を紹介しました。

追悼 山崎朋子さん

期間 二月二日(金)〜二月二七日(水)

一〇月に亡くなった福井ゆかりの作家山崎朋子氏の業績を紹介しました。

福井ゆかりの歌人と天災

期間 三月二日(金)〜四月二四日(水)

全国文学館協議会の共同展示として、俵万智や吉田正俊、岡部文夫など福井ゆかりの歌人が震災を詠んだ短歌を紹介しました。

◆ギャラリー展示

映画公開記念『羊と鋼の森』の世界

期間 六月八日(金)〜九月九日(日)

映画公開を記念して、宮下奈都『羊と鋼の森』の中の印象的な文章を引用したパネル展示を行いました。

絵本のいち見開き作品展

期間 二月一四日(金)〜二月二五日(金)

仁愛女子短期大学幼児教育学科の二回生が講義で創作した見開き一ページの絵本を展示しました。

若狭高校書道部作品展「登美子の歌」

期間 一月二九日(火)〜四月七日(日)

山川登美子の短歌のイメージに合わせて揮毫した書作品を展示しました。

出前文芸創作教室作品展

期間 二月五日(火)〜三月一七日(日)

当館が中学校や高校で行った出前教室において、武生東高校、武生高校池田分校、坂井高校の生徒が創作した短歌、俳句を展示しました。

教育普及活動

文学フェスタ

県内で文芸創作を行う方々が一堂に会して作品を発表したり、作り手や読者が交流したりするお祭り「文学フェスタ」を昨年に引き続き開催しました。図書館エントランスホールには、県内で活躍している文学同人や高校、大学の文芸サークル、ふくい文学ゼミ修了者など昨年を超える二〇団体がブースを開設し、同人誌の頒布や活動紹介を行いました。

また、坂井市出身の現代詩作家荒川洋治氏が「文学を創り出した人びと」と題し、講演しました。文学は作品を書くだけでなく総合的なものであると語り、文学を支えた編集者、装丁者、出版人などを紹介しました。読み継いで作品を遺していくことの大切さにも触れ、広い視点から書物文化を捉える必要性を語りました。

今年新たに、本県出身、在住者による文学出版物の展示や、中庭で俳句や詩などを自由に創作する「お庭DE創作」、福井の文学に関する難問クイズも行いました。カフェテリアでは、文学にまつわるランチやスイーツも楽しんでいただきました。昨年と同様に小説創作講座や文学交流会、スタンプリーパーも、文学に親しむ充実した一日になりました。



作家講演会

六月に山本一力氏講演会を行いました。佐久間勉や松平春嶽など福井ゆかりの人物に触れながら、ご自身の創作についても語りました。九月には「スポーツと文学」展関連として佐藤多佳子氏講演会を開催。「一瞬の風になれ」の取材エピソードなどを披露し、スポーツを描くことにより読者に勇氣と元氣を与えたい、と語りました。一〇月のおしどり文学館協定一周年記念講演会では、出久根達郎氏が津村節子氏吉村昭氏ご夫妻の作品の魅力について語り、二人の作品に共通する力強さを紹介しました。荒川区でも記念講演会を開催しました。三月にはふくい風花随筆文学賞授賞式に合わせ、三浦しをん氏と岩波書店前社長の山口昭男氏による記念対談を開催しました。取材の手法や小説への生かし方などについて、実際の取材ノートを映しながら具体的に話しました。

オーサートーク 作家による出前授業

若者に人気の作家が出前授業を行う「オーサートーク」を一二月に開催しました。『戦場のコックたち』や『ベルリンは燃えているか』が直木賞候補となった深緑野分氏が高志高校、鯖江高校を訪問しました。過去の出来事を小説にする際には、そこに生きた人々の思いに敬意を払い正確に書くことなど、自身の創作について語りました。



文学カフェ

福井ゆかりの作家や、作家と関わりの深い方にお話を伺い、理解を深める文学カフェを六回開催しました。

詩人の中島悦子氏による「ジュニア文学カフェ」には高校文芸部員が参加し、ワークシヨップでは絵を見て感じたことを詩で表現しました。小説家の南部くまこ氏は、少女小説の歴史を振り返り、自身の体験と重ねながらその魅力を話しました。元福井大学教授の越野格氏は、『夜叉ヶ池』をはじめとする福井が登場する泉鏡花作品について、作中の地名や鏡花の体験を交えながら紹介しました。あわら市在住の小説家桑島かおり氏は、作家を目指すきっかけやデビューまでの道のり、執筆する上で気をつけていることなどを話しました。京都大学人文科学研究所と共催で開催した「シンポジウム〜桑原武夫を語る〜」では、文学カフェとして長男の桑原文吉氏が桑原武夫の人となりや家庭での様子を率直に話し、続く講演では立命館大学准教授の根津朝彦氏が桑原武夫の業績を紹介、ディスカッションでは京都大学人文科学研究所准教授の藤原辰史氏



文学講座

がコーディネーターを務め、桑原武夫の人物像やその魅力について語り合いました。歌人の今野寿美氏は、『明星』歌人を代表する山川登美子と与謝野晶子の魅力について紹介しました。

国際日本文化研究センター所長の小松和彦氏は、国文学に登場する妖怪などの研究について語りました。小説家の中島美千代氏は、福井の文学五〇年の歩みを同人誌『日本海作家』の活動と合わせて語りました。

ふくい文学ゼミ

作家養成講座「ふくい文学ゼミ」の四期目を開講し、二五名が受講しました。新潮社の編集者から、小説執筆の心構えや登場人物の設定、ストーリーの作り方など小説執筆のコツを、一年を通じたプログラムにより学びました。毎回の提出作品の合評では、受講者仲間との切磋琢磨により実践力を磨きました。特別講座では、現役作家から創作に関する具体的なアドバイスをいただきました。



出前文芸創作教室

詩や短歌、俳句で活躍している方が学校に向向いて創作のノウハウを教える出前教室を開催しました。七月に至民中学校で詩、坂井中学校で俳句、武生東高校で短歌、一一月に武生高校池田分校で俳句、一二月に川西中学校で俳句、坂井高校で短歌の授業を行いました。

詩の出前教室では、福井県詩人懇話会の皆さんが言葉の組合せ方や比喻表現についてアドバイスし、詩作の楽しみを学びました。

創作講座

文学への関心と創作意欲を高めるため、文章講座を全三回、俳句講座、短歌講座、小説講座を各一回開催しました。文章講座は、ふくい風花随筆文学賞実行委員会との共催により、コラムニストやエッセイスト、校閲者から文章を書くポイントを学びました。俳句講座では、参加者の俳句を講評し、改善点を教わりました。短歌講座では、山川登美子の歌を詠み味わいながら、短歌の作り方を学びました。



平成30年度に開催したイベント一覧

期日	イベント名	場所	期日	イベント名	場所
4/21(土)	ふくいのお宝を聴こう!三好達治	映像ルーム	9/15(土)	日之出公民館出張講座	日之出公民館
4/30(月・休)	ふくいのお宝を聴こう!中野肇治	映像ルーム	9/17(月・祝)	創作講座第1回俳句(中内亮玄氏)	研修室
4/30(月・休)	キッズ文学キネマ「羅生門」【轟】	映像ルーム	10/20(土)	第3回ふくい文学ゼミ	研修室
5/3(木・祝)	キッズ文学キネマ「どんぐりと山猫」【注文の多い料理店】	映像ルーム	10/21(日)	文学カフェ(森島かおり氏)	研修室
5/6(日)	キッズ文学キネマ「金子みすずやしさの風車」【だるまちゃんてんぐちゃん】	映像ルーム	10/26(金~28日)	津村節子氏インタビュー上映会	映像ルーム
5/12(土)	ふくいのお宝を聴こう!高見順	映像ルーム	10/28(日)	出久根達郎氏講演会	多目的ホール
5/19(土)	文学カフェ(南部くまこ氏)	研修室	11/7(水)	出前文芸創作教室(俳句:中内亮玄氏)	武生高校池田分校
5/27(日)	ふくいのお宝を聴こう!水上勉	映像ルーム	11/17(土)	文学フェスタ「荒川洋治氏講演会」	多目的ホール
6/2(土)	ジュニア文学カフェ(中島悦子氏)	多目的ホール	11/17(土)	文学フェスタ【創作講座第2回小説の書き方入門編】	研修室
6/9(土)	ふくいのお宝を聴こう!津村節子	映像ルーム	11/17(土)	文学フェスタ【交流会】	カフェテリア
6/9(土)	第1回文章講座(増家迪男氏)	研修室	11/17(土)	文学フェスタ【同人誌ブース】	エントランス
6/16(土)	第1回ふくい文学ゼミ	研修室	11/17(土)	文学フェスタ【お徳DE創作】	テラス前
6/17(日)	山本一力氏講演会	多目的ホール	11/17(土)	文学フェスタ【ふるさと文学難問クイズ】	カウンター
6/20(水)	社会人のための教養講座	研修室	11/24(土)	シンポジウム～森原武夫を語る～	研修室
7/10(火)	出前文芸創作教室(詩:黒田不二夫氏ほか)	至民中学校	12/5(水)	出前文芸創作教室(俳句:中内亮玄氏)	川西中学校
7/13(金)	出前文芸創作教室(俳句:中内亮玄氏)	坂井中学校	12/8(土)	文学講座(小松和彦氏)	多目的ホール
7/14(土)	第2回文章講座(山下裕己氏)	研修室	12/11(火)	出前文芸創作教室(短歌:紺野万里氏)	坂井高校
7/22(日)	文学カフェ(越野格氏)	研修室	12/12(水)	オーサートーク(深緑野分氏)	高志高校
7/23(月)	出前文芸創作教室(短歌:紺野万里氏)	武生東高校	12/13(木)	オーサートーク(深緑野分氏)	鯖江高校
7/29(日)	第3回文章講座(井上孝夫氏)	研修室	12/16(日)	文学キネマ「初登場者と競るドキュメンタリー」	研修室
8/5(日)	スポーツ文学キネマ「風が強く吹いている」	映像ルーム	11/12(土)	文学講座(中島美千代氏)	研修室
8/12(日)	ちょっとだけこわい話のおはなし会	映像ルーム	1/19(土)	第4回ふくい文学ゼミ	研修室
8/19(日)	かこさとしの紙芝居上演会【しろいぞうのはなし】【パンちゃんの大ぼうけん】	映像ルーム	2/18(土)	文学カフェ(今野寿美氏)	研修室
8/25(土)	かこさとしの紙芝居上演会【しろいぞうのはなし】【とらのことらちゃん】	映像ルーム	2/24(日)	第5回ふくい文学ゼミ	研修室
8/26(日)	ポッチャ体験教室	映像ルーム	3/3(日)	ふくい風花随筆文学賞授賞式	多目的ホール
9/1(土)	第2回ふくい文学ゼミ	研修室	3/3(日)	三浦しをん氏山口昭男氏対談	多目的ホール
9/2(日)	佐藤多佳子氏講演会	多目的ホール	3/17(日)	創作講座第3回短歌(北野よしえ氏)	研修室

資料寄贈のお願い

当館では、福井の文学に関する資料を収集・保存し、次の世代に継承するとともに展示・研究などで活用してまいります。福井ゆかりの作家や作品に関する資料（自筆原稿、書簡、書画、挿絵、愛用品、写真、映像等）がございましたら、文学館まで寄贈くださいますようお願いいたします。

【寄贈受贈】

平成三〇年度にご寄贈いただいた方を紹介します。

阿部敬子氏、上野啓子氏

(五〇音順)

トピックス

◆音声ガイドサービスを始めました！

著名人が福井ゆかりの作家について語る音声ガイドを導入しました。荒川洋治氏が語る高見順や池澤夏樹氏が語る三好達治を楽しんでいただけます。また、企画展開催時には主な資料の解説も聞いていただけます。利用は無料です。お気軽に文学館窓口にてお申し込みください。今後、コンテンツを増やしていく予定です。お楽しみに！

◆くつろぎコーナーを設けました！

ソファやスツールでゆったりとご休憩いただけます。展示鑑賞や読書、映像視聴にお気軽にご利用ください。

編集後記

平成三〇年度は、幕末明治福井一五〇年博と五〇年ぶりの「福井しあわせ元気」国体・障スポ大会という二大イベントがあり、当館でも連携して展示を行いました。

一〇月には寛仁親王妃信子様をお迎えし、企画展「スポーツと文学」をご観覧いただきました。

今後さらに企画展やイベントを充実してまいりますので、どうぞご期待ください。

観覧料・無料
休館日：毎週月曜日（休日の場合は翌日）
開館時間：平日 9時～19時、土日祝 9時～18時
資料点検期間：第4木曜日（月によって変更あり）

ふるさと文学館へはフレンドリーバス（無料）が便利です。
福井駅前バスターミナルから30分間隔で運行（約15分）

福井県ふるさと文学館報 第5号

発行日 平成31年3月31日
創刊日 平成27年3月31日
発行所 福井県ふるさと文学館
福井市下馬町51-11



TEL : 0776-33-8866 FAX : 0776-33-8861
http://www.library-archives.pref.fukui.jp/
https://www.facebook.com/fukuibungaku/

(55030)